

井筒俊彦 いづつ ぶん イスラム學者、文學博士。大正二年五月四日東京生れ、平成五年一月七日歿（九四—九三）。昭和十一年慶應義塾大學文學部卒。同大教授、カナダのマックギル大學教授、イラン王立哲學アカデミー教授を歴任。日本學士院會員。『コーラン』全三冊（昭和二十二年十一月—二十五年二月）—二十五年五月岩波書店「岩波文庫」—は初の原典譯。他に、モッラー・サドラー著『存在認識の道—存在と本質—』の訳（昭和五十三年二月—二十八日岩波書店「イスラーム古典叢書」）、ルーミー著『ルーミー語録』（昭和五十二年五月二十日岩波書店「イスラーム古典叢書」）等の譯書がある。

著書『コマホメット』（昭和二十七年四月—二十日弘文堂「アテネ文庫」）、『ロシア的人間—近代ロシア文學史』（昭和二十八年二月—十日弘文堂）、『イスラーム思想史—神学・神秘主義・哲学』（昭和五十年十一月—二十八日岩波書店）、『イスラーム哲学の原像』（昭和五十五年五月—二十日岩波書店「岩波新書」）、『イスラーム文化—その根柢にあるもの』（昭和五十八年十一月—二十三日岩波書店）、『意識と本質—精神の東洋と西の』（昭和五十八年一月—二十一日岩波書店）、『コーランを読む』（昭和五十八年六月—二十日岩波書店「岩波セミナーブックス」）、『SUFISM AND TAOISM, A Comparative Study of Key Philosophical Concepts』（昭和五十八年九月八日岩波書店）、『意味の深み—東洋哲学の水位』（昭和六十年十二月十日岩波書店）、『教知の白屋—井筒俊彦対談集』（昭和六十一年一月—二十三日岩波書店）、『イスラーム生誕』（平成二年八月十日中央公論社「中公文庫」）



波書店）、『教知の白屋—井筒俊彦対談集』（昭和六十一年一月—二十三日岩波書店）、『イスラーム生誕』（平成二年八月十日中央公論社「中公文庫」）

